

ぽ～れぽ～れ

愛知県支部版



あ い ち

2022年 8月25日



大盛況！！
ケアラズカフェ日向家
3周年記念
「熱血 HEART」コンサート

※ケアラズカフェ日向家 10:30～15:00

■認知症介護相談 火曜日～土曜日 10:30～15:00

■カフェイベント 13:30～14:30

9月 8日(木) オカリナコンサート

9月 13日(火) 栄養士と話そう～介護相談

9月 21日(水) みんなで楽しもう！！
アルツハイマーデー

【百歳体操 (金曜日)】

9月2日・9日・30日

10月 5日(水) ストーンアート

10月 13日(木) 十人十色介護の話～男性編

10月 18日(火) 看護師と話そう～健康相談

【百歳体操 (金曜日)】

10月7日・14日・28日

コロナの状況により変更になる場合がありますので、HPでご確認下さい



もくじ



- みなさんこんにちは・・・・・・・・・・ 2
- 連載 住み慣れた地域で暮らし続けるために・3
- 介護体験・・・・・・・・・・ 4・5
- 似たりよったりみんな一緒・・・・・・・・ 6・7
- よろず屋雑貨店 (介護医療院)・・・・ 8・9
- 自治体訪問キャラバン・・・・・・・・ 10
- 取り組み紹介・活動の様子・・・・・・・・ 11
- ケアラズカフェ日向家だより・・・・ 12
- 推薦図書・・・・・・・・・・ 13
- 愛知県支部の歴史・・・・・・・・ 14・15
- 会員の皆様より・・・・・・・・ 16
- 新聞記事より・・・・・・・・ 17
- ちょっと息抜き・・・・・・・・ 18
- 活動報告・入会案内・・・・・・・・ 19
- 交流会予定一覧 編集後記・・・・ 20

みなさんこんにちは

暑さももうひと頑張りです。猛暑の中、3年ぶりの自治体訪問キャラバンも無事に終わりました。自治体との関係を深めたいと、平成17年から始めた取り組みですが、どこの自治体も認知症施策に、とても力を入れるようになってきています。特に9月をアルツハイマーデー月間として様々な取り組みが計画されていました。

訪問は課長さん宛に依頼をし、1日に6ヶ所、それぞれ30分ほど時間をいただき情報交換をしてきます。実は毎回密かに楽しみにしていることがあるのです。それは自治体の私たちにに対する対応です。多くのところはきちんと部屋をとって真摯に対応していただけます。ですが、たま〜にそうでない“塩対応”のところもあります。自治体の職員の方は、2、3年くらいで交代するので、前回あまり感じがよくないところも次にいくととてもよかったです。その逆もありなので、なかなかこれが興味深いのです。中には暑かったでしようかと冷たいお茶を準備してくださるところもあり本当に感謝です。

アルツハイマーデーに建物をオレンジ色に染めるライトアップをする自治体も増えてきましたが、私たちは今年の中区包括の

みなさんと、名古屋のテレビ塔のライトアップで本部のYouTube 列島生配信に参加したいと思っています。9月21日夕方に行いますので、お近くの方はぜひお越しください。

6月からジェントルマンの会の名古屋会場が始まりましたが、11月から岡崎会場も開設する予定で進んでいます。そのPRも兼ねて9月25日(日)の「認知症フォーラム」は、男性介護者をテーマにした講演会を開催します。介護体験談もお話いただく予定です。ぜひ皆様ご参加ください。9月10日の医学系学生さんによる認知症講演会の参加者も募集中です。(13ページ)ご家族の皆様の感想を聞きたいということですので、こちらもぜひご応募ください。

7月下旬に濃厚接触者になってしまいました。運悪く翌日は藤田の家族支援プログラム、しかも私が講師日。やむなく急遽中止にして皆さんにご迷惑を掛けてしまいました。延期にしましたが大事なコマだったので残念残念。それにしてもこれだけ多くなってくると、いつ感染してもおかしくありません。事務局も1人陽性で療養中です。どうぞ皆様もくれぐれもお気をつけてお過ごしください。..... 尾之内

住み慣れた地域で暮らし続けるために

～上手な在宅医療の使い方～

あいち診療所 野並
院長 野村 秀樹



第三回 実際の訪問診療（往診）はどのように行われるのか？（後半）

今回は基本的な訪問診療の流れについてお話ししました。今回は胃瘻など医療処置が必要な場合や自宅で最期を迎える場合についてお話しします。

【医療処置がある場合】胃瘻チューブや医療機器等の管理・交換・トラブル時の対応等を医療処置と呼んでいます。インスリン注射や人工呼吸器の管理など様々なものがありますが、認知症の方では胃瘻を作る方が時があります。胃瘻を作るときは入院が必要ですが、その後は訪問診療で管理、交換ができます。但し、対応できる医療処置の内容は医師によって、かなり違いがあります。そのため、医療処置が必要となった場合に具体的にどこまで対応してもらえるのか？は事前に確認しましょう。例えば、定期交換も病院受診が必要なところ、事故抜去等トラブル時は病院受診が必要なところ、トラブル時も含めできるだけ在宅で対応するところなど様々です。また、チューブの種類や処置の方法については病院での内容と異なることがあります。在宅では在宅に合ったやり方があるので、病院と異なる点をあまり心配する必要はありません。



胃瘻を付けた認知症の方は寝たきりの方が多いので、チューブ交換だけのために病院受診は大変です。医療処置が必要となった場合は、自宅でトラブル時にも対応してくれる訪問診療を導入すると良いでしょう。夜間・休日でも必要時に往診してくれる在宅療養支援診療所・支援病院を選ぶようにすると安心です。

【自宅での看取りを考える時】

認知症が進行して食事が十分にとれなくなると、人生の最終段階(End Of Life(EOL))いわゆる終末期をどこでどのように過ごすかを考える時期が来ます。もし、自宅で最期まで過ごすとした場合、訪問診療でどのようなことを受けられるかをお話しします。どの

段階を EOL 期とみなすかですが、認知症の進行によって寝たきりとなり、発熱を繰り返したり経口摂取量が減って体重減少が明らかとなってきた場合に EOL 期と考えることが多いです。このような状況でも、自宅で過ごすためには24時間対応の訪問診療以外に24時間対応の訪問看護を利用することが重要です。死が近くなると身体に様々な変化が現れます。その時ご本人の病状に応じて訪問診療や訪問看護の回数を増やしてゆきます。食べないが点滴したほうが良いのか？寝てばかりいるがどうしてか？体が弱っているが入浴できるか？など、ご家族としてもいろいろな疑問や不安が出てきます。面会や療養の仕方を自由に決められることが、在宅でのメリットの一つです。おこなってあげたいことや逆におこなってほしくないことなど、医師や看護師に率直に相談してみましょう。内服や点滴をすることもしないこともそれぞれメリット・デメリットがあります。EOL 期にはデメリットの方が大きくなることも多いです。基本的にはご本人の安楽を優先し、苦痛を軽減する対応が中心となります。ご本人の苦痛軽減に役立たない場合は点滴も行わずに看取りをすることもあります。



いよいよ残された時間が数日になると、昏睡となることが多いです。その場合でも、聴覚と触覚は働いているといわれています。いつもの様に声をかけてあげて、ケアをしてあげてください。近年は認知症に限らず、自宅で最期を迎える方も少しずつ増えています。最期は病院・施設と決めつけずに、自宅で看取する方法もあると少しでも多くの方に知っていただくと嬉しいです。

今回は、認知症の方の人生の最終段階(EOL)とアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)についてお話しします。



世話人会



普及啓発・会員募集委員会



運営企画委員



講演会・研修企画委員会

介護体験

愛しい妻の介護



M・H

妻は 81 歳 介護 3 私 83 歳

妻は体重が最高で 55 キロぐらいあったが、平成 30 年頃から痩せてきて、友達と会うと痩せたと言われるので会うのが嫌になっていた。別居している子供たちが、お母さんが変だと言うので令和元年 12 月医者に行く。長谷川式 30 点満点中 18 点。体重は 39.5 キロ。アルツハイマーと診断された。妻が認知症になるなんて私は信じられなかったし、妻は認知症であることを絶対に認めなかった。いつも朝一番に読んでいた新聞を読まなくなってきた。料理は出来るが、オープンレンジが分からなくなる時があった。

令和 2 年の元旦にはお雑煮を作ってくれ、糸と針で縫い物をする時もあった。夜になると方向音痴になる時があり、特に風呂の場所が分からない。私が毎日小学生の見守りをしているが、時々行かないでと止められる時があった。

令和 2 年 1 月に医者から認知症のリバスタグミンテープの貼り薬を処方される。

認知症の長谷川先生のビデオを見ていたらコーヒを淹れてくれて、一緒にビデオを見ていた。夜にビデオをもう一度見たいと言うので見せたが、やがて俯いてしまった。可哀そうな気がして何も言えなかった。だんだんと物忘れが多くなり、私に強く当たるようになった。まだ、料理は作ってくれた。家族の会に入会し、懇談会、講習会や電話相談にも参加し認知症の本も購読したりして、皆様の知恵を参考にしてきた。

2 人の子供がいるが、次女は好い子で、長女は家から何かと持ち出す悪い子だと被害妄想が出始めた。2 月頃から携帯電話が掛け

られなくなった

女房の財布の中から私が取ったと言うようになったり、筆筒の中の大事な物がなくなって私が取ったと言いだした。私は料理も下手で、おいしい食事もできなかったが、食事もあり食べられなくなって、体重は減り気味でなかなか増加しない。女房は団子が好きなので買ってくると、時間に関係なく食べるので、余計食事が食べられなくなる時があった。7 月に入れ歯を作ったが、うまく使いこなせず今は使っていない。10 月には体重が 36 キロまで減少。昼食後、横になることが毎日のようになった。入浴を嫌がるようになり、湯の中にしゃがんで温まることなくすぐに出てきてしまう。

主治医からは、少し運動して腹を空かしてどんどん食べなさいと言われていた。数年前より腰部脊柱管狭窄症で整形外科に毎週 1 回通院していたので、ケアマネージャーの働きにより同整形外科の通所リハビリセンターに令和 2 年 10 月より毎週 2 回通院して運動をすることになった。

令和 3 年 2 月から、同じ町内のデイケアセンターに毎週 2 回通所するようになったが、もっと早く来てもらえるとよかったと言われた。女房はリハビリよりデイケアの方が面白いと言っていた。以前から在所に行きたい、母親に会いたいとよく泣くようになった。また、朝食後もすぐ寝てしまうことが多くなった。入浴が嫌いになっており入浴させることが大変な作業になってきた。デイケアでも入浴が大変だと日記に書いてある。家の風呂は狭くて私が一緒に入れないので教えてやるが出来ない。入浴について大変な負担

になった。怒ってはいけないとわかっているけど、つい怒ってしまう。妻も怒られると在所に行きたい、母親に会いたいと言う。在所には病弱の兄嫁が一人で住んでいるが、来てくれないように言われているので連れて行けなかった。

認知症も進行してきて主治医の検査は 30 点満点の 8 点だった。リハビリやデイケアの運動が苦手で行くのが嫌だと言う。デイケアの帰宅後、話をしてくれるが「次回はあなたが行きなさい」と強く言う。でも当日になると自分で進んで行ってくれた。

また、この家には知らない男の人と女の人が居ると幻想が現れるようになった。また、女房が「昨日はごめんね」と謝る時があった。私が外出する時は行き先を何回も言っ出て出かけるが、帰宅すると「どこへ行ってきたの」と怒る。私が紙に書いて出かけることが大切だと反省した。

6 月頃からトイレの回数が多くなり、主治医に相談して病院の泌尿器科へ紹介状を持参したが、治らないと言われた。

妻の病気の進行が早いようなので、入居する施設の下見を始めた。入居費用の支払いの関係で金融機関を一本化するために妻と同伴して手続きも進めた。

妻がトイレの場所が分からないと言うことが出始めたので、寝室を妻と別室にしていたが、同じ部屋で寝るようにした。夜もトイレと一緒にいくようにした。

7 月頃よりトイレの水洗の使い方が分からず、手がかかるようになった。ウンチをした時の水洗の使用方法を箇条書きにして、トイレの扉に貼って覚えるように仕向けたが、なかなか覚えてくれない。オシッコを漏らした時は「誰か悪いことをする人が腰を濡らしてしまう」と言った。

7 月より通所リハビリを週 1 回に減らし、デイケアを週 3 回に変更した。妻に手がかかるようになり、私の疲労も重なり怒ることはいけないと分かっているけど、つい怒ってしまう。後でごめんねと謝る。家では食事の後、

すぐ横になるがデイケアでは横にならない。

11 月に入り夜間オシッコを漏らすようになった。紙パンツの使用をいやいやながら始めた。その頃、ケアマネージャーからショートステイの話があり隣町の特養の利用の話を勧められた。11 月に 1 回と 12 月に 3 回。すんなりとショートステイに行ってくれた。

12 月に介護度を再調査したら介護 2 を飛び越えて 3 になった。12 月の下旬に、私が入所させたいと希望する施設から部屋が空いたとの連絡があり、30 日に入居することになった。

令和 4 年 1 月 6 日に面会に行ったが泣いてばかりで連れて帰ってと乞われた。でも介護士にうまく言われて部屋へ帰ってくれた。辛かった。妻が不憫で仕方がなかった。13 日、16 日に面会に行ったが、涙もろくなって別れることが辛かった。施設でも入浴は苦手で、浴槽の中で立って湯船に腰を落とさないのでも 2 人で入れていると言われた。食事もおかずは食べるがご飯を残すことが多いと言われた。1 月 22 日からはコロナの為にズームでの面会になった。ズームでは 20 分ぐらい話が出来た。3 月 24 日からは肉親 1 人が 10 分間の面会が出来るようになった。毎週、日曜日以外の 6 日間に妻の旅行の写真集を持参して面会をしている。

妻の毎日の記録を読み返してみると、随分怒ってしまったことがあり後悔している。面会の時に、妻に「前に随分ひどく怒ってごめんね」と謝ったら、「そんなの、いいよ」と言ってくれたが、怒られたことを忘れていたのだろうか。妻が面会室に入ってくる前に不機嫌な顔をしていても、私の顔を見たらいっぺんに顔が和んでくるのでうれしくなる。そして、連れてきていただく介護士に「この人私の主人です」と紹介してくれる時がある。現在は私以外の顔の区別が分からないようになっているが、妻が愛おしくて仕方がない。



似たりよったり みんな一緒！！

介護の知恵がいっぱいの交流会です



八千代病院交流会

つれあいの介護をして

【A】(妻 76歳 要介護1)

掃除や炊事がちゃんとできないのにやりたがるので困ります。この前は米を研ぐのに洗剤を入れていたんですよ。

紙パンツが汚れているのに「まだ大丈夫」と言ったり、使用した紙パンツを干してまた使おうとしたりで、毎日がしんどいです。

【B】(夫 77歳 要介護1)

毎日、「わからない、わからない」「おかあさん、おかあさん」と私の後をついて回っています。1日中ついて回られるので、イライラしてつい声を荒げてしまいます。夫はそのたびに「ごめんなさい」と。私が怒るから夫の症状が進むのかなあ。



いやいや、うちも怒るよ。



怒っても、夫さんの機嫌が悪くなったり、落ち込んだりしなければ、コミュニケーションの一つと置いていいんじゃないかな。

【C】(妻 65歳 未申請)

2年ほど前から、鍋を焦がしたり、食材のある場所がわからなくなったりで、料理をしなくなってきました。今年になって、アルツハイマーと診断されました。まだ若いのに、これからどうなるんだろう。

テレビの中の話と現実がごっちゃになって、「家族が事件を起こした」と大騒ぎしたりするのに困っています。

【D】(妻 81歳 未申請)

車の運転が危なくなったので、免許証を返納させたんだが、それから毎日機嫌が悪くてねえ。一番困っているのは、風呂の給湯器の温度設定を勝手に変えてしまうことです。本人に言っても「私じゃない」と言うだけだから。

本人はプライドが高いので介護認定の申請をできずにいるが、どのタイミングで申請したらいいだろう？



タイミングを迷うなら今から申請しましょう。本人の同意はなくて大丈夫。「80歳以上の人の健康調査」など言い方はいろいろありますよ。



うちも心配だったので、前もって「調査の時に認知症とか介護とかの言葉は使わないで」と頼んでおきました。ちゃんと配慮してもらえましたよ。

親の介護をして

【E】(義母 83歳 要介護5)

サ高住に入所していて、特養に転所を勧められていたのですが、症状が落ち着いて、もうしばらくおいてもらえそうです。症状が進んで車イス生活になったので介護しやすくなったからでしょうか。

私のことを嫁とわからなくなり、暴言もなくなりました。もともと「他人が悪い、自分は正しい」の人だったのですが、認知症になってもそのあたりは変わらないのかな。

【F】(実母 73歳 未申請)

母は一人暮らしをしていて、昨年MC Iと診断されました。もの忘れ、道に迷う、家事をしないなどの症状があります。兄弟が交代で母の様子を見に行っているのですが、自営の仕事や子どもが小さかったりで、皆忙しく、兄弟仲も怪しくなってきました。この先、母を引き取ることも考えなきゃいけないのでしょうか？



まずは地域包括支援センターに相談してみましよう。介護サービスとか予防事業を利用しながら一人暮らしを続けている認知症の人は多くなってきましたよ。

【F】ほっとしました。どこに相談したらいいか、今後何をしたらいいか全くわからず、八方ふさがりの状態でした。

【G】(実母 87歳 要介護1)

Dさんと同じで、母に運転免許証を返納させました。そうしたら、一気に症状が進んでしまいました。ものをよく失くします、そして、ものを盗られたと言います。また、私の妻のことを父の彼女と思い込んでおり、泥棒呼ばわりするのです。



実の母親のその症状は受け入れがたいでしょう。



奥さんが泥棒扱いされたり、お父さんの彼女と思われているうちは、奥さんとお母さんの接触は避けた方がいいかもね。「違ふよ」と言い聞かせようとしても、残念ながら無理だから。

【H】(実母 89歳 要介護1)

もの忘れが多く、もの盗られ妄想があります。気分の起伏が大きいのも困ります。

デイは拒否して行きません。農家なので、デイに行かずに野菜の収穫を手伝ってくれるのはありがたいが、毎日顔を合わせているのも疲れがたまります。母がデイに行かないなら、私が週何日かでもパートに行こうかと考えています。

介護の工夫あれこれ



コロナも心配だけど、毎日暑いので、熱中症も心配です。熱中症の予防のため飲み物をあまり飲まなくても水分が摂れるように、スイカを毎日食べさせています。



行方不明になってしまったことがあるのですが、本人がどんな服装をして家を出たか分からず答えることができませんでした。

それ以来、毎朝スマホで本人の写真を撮ることにしています。



八千代病院介護者交流会

開催日：毎月第2火曜日 次回9月13日

時間：午後1時30分～3時30分

場所：八千代病院2階大会議室

(安城市住吉町2-2-7)

対象：どなたでも

ご本人と同伴でお越しいただけます

ようこそ よろずや雑貨店へ

連日の猛暑の中、新型コロナの感染症の増加もあり、体調管理が大変なこととおもいます。皆様どうかお身体ご自愛くださいませ。さて今回は介護医療院です。

介護医療院とは!?

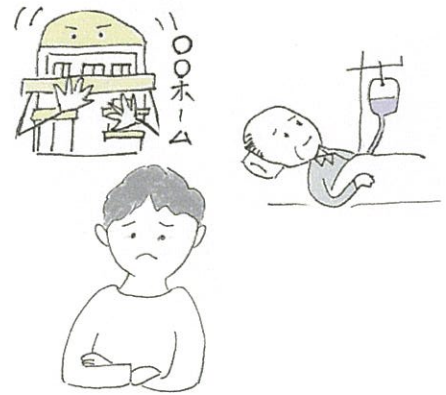
長期入院する高齢者の方が増えてきたことで、国は長期的に介護療養が必要な患者さんが介護保険を使って利用する「介護療養病床（介護療養型医療施設）」と長期的に医療療養が必要な患者さんが医療保険を使って利用する「医療療養病床」を作りました。しかしその利用実態を調べると、利用者の状況に大きな違いがありませんでした。つまり医療と介護が明確に区別されないまま運用されているという実態が明らかとなりました。

そこで、あらたに【介護医療院】を創設し、これまでの「介護療養病床」を2024年3月末までに「介護医療院」に転換していく取り組みを進めています。

介護医療院は、利用者の状態によってI型とII型に分けられます。

- ◇介護医療院I型：重篤な身体疾患を有する方及び身体合併症を有する認知症高齢者等で介護療養病床に相当する施設
- ◇介護医療院II型：I型の利用対象者と比べて、容体が比較的安定した方、介護老人保健施設に相当する施設

介護と医療的ケアが必要な場合、特養などでは、「うちでは対応できません」と入所を断られるケースが多くあります。その場合、「介護医療院」という選択肢が出てきます。比較的重度の方の利用が多く、医師や看護師が24時間体制で常駐しているため、ターミナルケアや看取りまで行える入所施設です。ただし、施設数が少ない為、入所が難しいというのは難点です。その他に医療依存度が高い方の入所施設としては、ナーシングホームという看護師さんが常駐し看取りまで行える有料老人ホームなどもあります。



介護医療院の費用は・

介護医療院は、有料老人ホームのような、入居一時金は、必要ありません。かかる費用として、食費・居住費・管理費・介護サービス費となりますが、このうち介護保険適用のものと、そうでないものがあります。施設の費用として、所得により異なりますが7万円~16万円程度です。

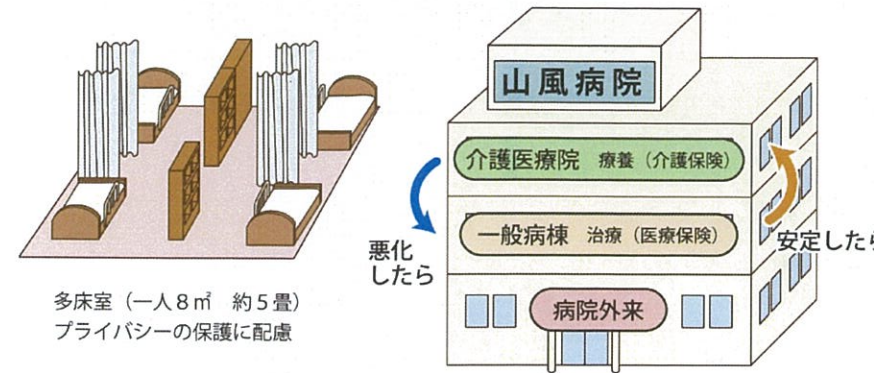
◇介護保険適用：介護ケア費、医師・看護師による医学的管理による投薬などの医療サポート、各種リハビリ等

◇介護保険適用外：居住費、食費、日用品費、水道光熱費、理美容費、イベント参加費、診断書作成等文書費等



介護医療院・ 介護療養型医療施設

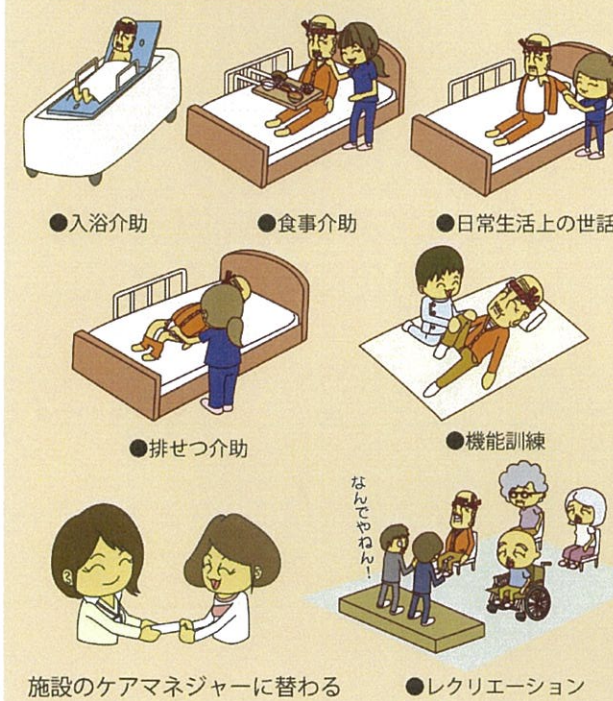
入所対象：要介護1~要介護5 医療的ケアと介護サービスの両方が必要な方
月額費用：約7万円~16万円（おむつ代含む）
(所得により異なる 要介護3 自己負担1割で計算)
入所一時金：なし



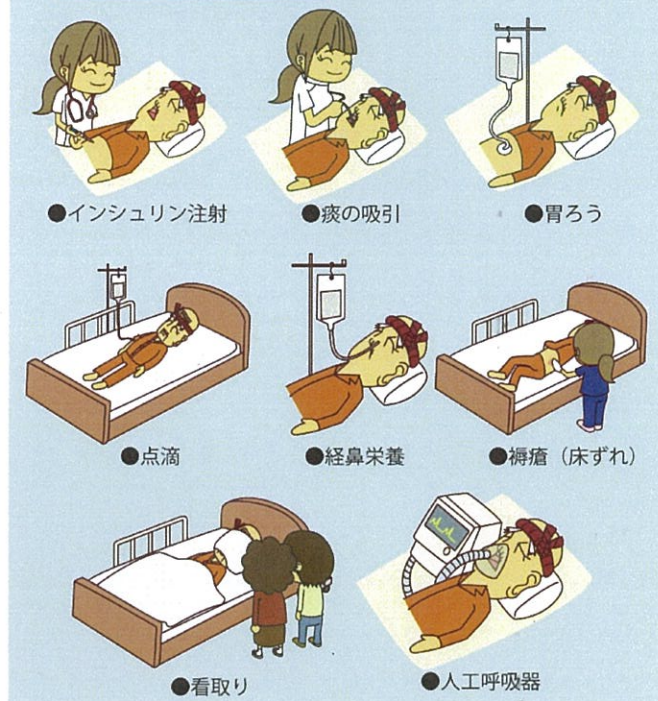
特徴

- ◆慢性的病気があり長期的医療と介護の必要がある要介護高齢者が対象
- ◆日常的な医療管理や看取りやターミナルケア（終末期）等の「医療的サービス」と生活施設としての「介護サービス」を兼ね備えた施設
- ◆要介護4・5の重度の方の利用が中心

介護サービス



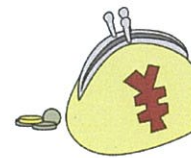
医療的サービス



おむつ代は
利用料に含まれる



負担限度額制度あり



所得の少ない方
への減額がある

多い
医療職の配置が



医師・薬剤師・看護師・リハビリテーション専門職・栄養士・放射線技師・介護支援専門員・介護職員等



- ◆介護療養型医療施設は、2024年3月末に廃止されます。現在は介護医療院への移行期間です。
- ◆介護医療院には、(I)「重篤な身体疾患を有するもの及び身体合併症を有する認知症高齢者等」(II)「容態は比較的安定した者」の二つの区分があります。どちらを対象にするかは施設により異なります。
- ◆(I)は医療職の人員配置が多く(例：医師は100床に3人以上)(II)は老人保健施設相当の人員配置(例：医師は100床に1人以上)となっています。
- ◆医療的ケアがあるため介護施設の入所を断られた場合に利用できる施設です。

自治体訪問 キャラバン

コロナ禍でお休みしていた自治体訪問キャラバン、3年ぶりに各自治体の高齢担当の方々と、アルツハイマーデーをはじめとした様々な認知症施策の情報交換をしてきました。6/21・22・23・29, 7/4・8・19, 8/2・15・16の10日間で、県内54か所にお邪魔しました。



愛知県



名古屋市



名古屋市社会福祉協議会



豊山町



岩倉市



小牧市



春日井市



清須市



あま市



大治町



東郷町



一宮市



豊川市



東浦町



阿久比町



南知多町

はじめてキャラバンというものに参加しました。私は21日には愛知県庁・名古屋市庁舎など4か所、23日には愛知県北部の5市1町へも行きましたが、自分が住む町以外の市庁舎へ行くことが無く、それぞれの市町村でも認知症に関する取り組みに温度差がある事を肌で感じる事が出来ました。認知症予防の為に体操教室やサポーター養成講座など各市町村が工夫していることを知る事が出来ました。 M・N

6か所の自治体に同行させて頂きました。どの自治体も認知症施策を意識されているようですが、実際の取り組みにはかなり差があるように感じました。地域の事情はあると思いますが、どの自治体でも交流会ができるようになれば良いと思いました。コロナで2年間のブランクはあっても、今までの訪問の積み重ねの成果は感じる事が出来ました。 E・M



東栄町



豊根村



設楽町

さわやかな空気「只今の気温 25℃」の東三河山間部に同行しました。人口約1000人～4500人ほどの豊根村、東栄町、設楽町では、地域の人みんなが知り合いでお互いに見守り合っているというお話でした。

人口的に各町村単独での支援プログラムや交流会等は無理であっても、マンガ冊子や本部の冊子に関心を示される姿を見て、地域によって必要な家族の会の関わり方があるのでは？と感じました。小さな町村では、東三河広域連合(次の頁)で一丸となって介護保険事業を推進しているとのこと、担当の方の明るい表情が印象に残りました。お山の中には、チョウザメランチ、テレビで紹介されたパン屋さん、いろいろお楽しみもありましたよ～。 T・H



取り組み紹介 家族介護者支援リフレッシュ事業

東三河広域連合って？

東三河地区の8市町村(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村)では、それまで各自治ごとに運営していた介護保険制度を、平成28年4月より東三河広域連合を組織し、全体で運営する方法に変更しました。

要介護認定の申請、証書の再発行等の手続きは、東三河地域8市町村の介護保険担当窓口であれば、どちらでも可能で、通常ではサービス事業所のある市町村の住民しか利用できない「地域密着型サービス」も、東三河地域8市町村内で、市町村の垣根を越えて利用できるようになりました。他に広域連合の方法をとっている地域は知多北部広域連合(東海市・大府市・知多市・東浦町)があります。

ビックリ!! & 画期的なのは、東三河広域連合では「家族介護者リフレッシュ事業」として、介護保険制度の費用から家族支援の予算を捻出し取り組んでいることです。



どんな取り組み?
在宅介護者に温泉等入浴施設の利用料金助成券が6000円分支給されます。とても好評です!!

宿泊でも利用可能、
飲食でも利用可能、
日帰り入浴でもOK!

気分転換して、心も体もリフレッシュ!
日頃の疲れが取れます!!



活動の様子

感染対策に気をつけながら、様々な取り組みができました。



藤田医科大学交流会



シングル交流会



阿久比認知症カフェ



藤田家族支援プログラム



元気かい(若年認知症)



仕事と介護の両立
学習会&交流会



東海市家族支援プログラム



常滑市家族支援プログラム



豊橋家族介護教室



ボランティア養成講座



商工会青年部サポーター
養成講座



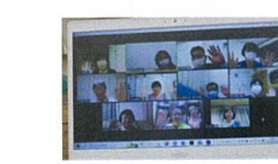
県社協シルバーカレッジ



電話相談員養成講座



仕事と介護委員会



旅行打合せ



カフェ委員会

ケアラーズカフェ

日向家お知らせ

平日火～土曜日 10:30～15:00
 場所:まなぶん横須賀 2階
 名鉄尾張横須賀駅 すぐ隣
 アクセス:金山から特急 14分
 ★お気軽にお越しください!!
 ☎090-4117-9033

【ケアラーバンド熱血ハートの皆さんに来ていただき、3周年のお祝いを7/23(土) 行いました!!】



「上を向いて歩こう、アルデバラン」等いろいろな年代の歌を演奏して頂きました。



3周年にちなんで3本の指でハイ・チーズ



ジュースで乾杯!!

お楽しみイベント

【百歳体操】6/3・6/10・6/17・6/24・7/1・7/8・7/15・7/22・7/29



【看護師と話そう～健康相談】6/21(火)



【栄養士と話そう～栄養相談】6/9(木)



【頭と体の運動】7/5(火)



【ヘルパー(訪問介護)の話】6/15(水)



【風鈴を作ろう】7/14(木)



ペットボトルのふたや、手すりの切れ端、金管などの不用品で作りました。

ようこそ日向家へ

毎週金曜日に来て下さるボランティアさんを紹介します。お母さまを介護中です。

認知症の母は5分位離れた所で一人暮らしをしています。デイサービスを勧めたのですが強い拒否で諦めました。今は自宅に訪問してもらうサービスを毎日利用しています。

以前は通帳やお金を持って行ったと暴言を浴びたりして辛いこともありましたが、最近は徘徊しない母は介護しやすい事に気づきました。そうしたら気持ちが急に軽くなりました。

庄司さん(東海市在住)



【スタッフあれこれ】

ケアラーズカフェ日向家では、ラジオ体操(毎日)や百歳体操(金曜日)をやっています。家に閉じこもらず、人と交流し、定期的に運動してお元気で生活していただきたいです。私もカフェに行くことで元気をもらっています。 M・E



推薦図書のご案内

「認知症の人と家族の会」は、認知症の最新情報と正しい理解を伝える書籍を推薦しております。このなかから3冊をご紹介します。

『丹野智文 笑顔で生きる -認知症とともに-』



認知症でも働ける。認知症当事者が当事者のために書いた本。ネットトヨタ仙台でトップ営業マンだった著者は30代半ば頃からお客さんの顔を忘れる、受話器を置いた途端に用件を忘れる…。若年性アルツハイマー型認知症と診断されたのは39歳の時だった。全国各地で精力的に講演に取り組む。海外でも翻訳版が出版されるなど、すべての人に読んでほしい一冊。

著者 丹野 智文 出版 文藝春秋 価格 1,450円+税

『レビー小体型認知症がよくわかる本』



推定患者数90万人以上ともいわれるレビー小体型認知症。発見者である著者がくわしく解説。幻視・妄想、抑うつ症状、パーキンソン症状などさまざまな症状が出やすく、初期には「もの忘れ」などの症状が目立たない認知症。ほかの認知症とはどう違うのか、進行を抑えられるのか。病気の見極め方から治療法、介護のコツを図解した一冊。

著者 小阪 憲司 出版 講談社 価格 1,300円+税

『注文をまちがえる料理店』



『私たちのホールで働く従業員は、みんな認知症の方々です。ときどき注文をまちがえるかもしれないことを、どうかご承知ください。その代わり、どのメニューもここでしか味わえない、特別に美味しいものだけをそろえました。』メディアと市民を巻き込んだ実験的な取り組みの紹介。

著者 小国 士朗 出版 あさ出版 価格 1,400円+税

参加者募集中!!

認知症を正しく理解しよう

開催日: 9月10日(土)

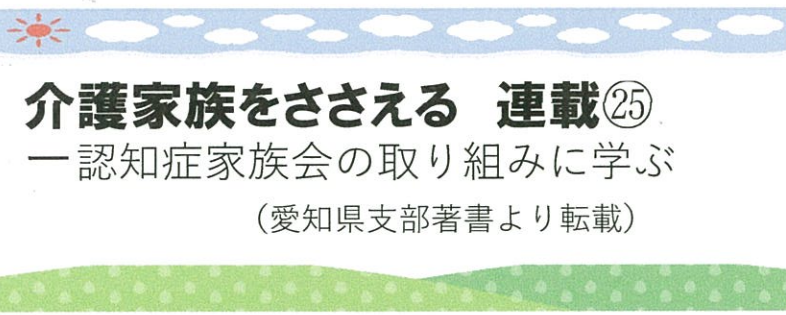
時間: 11:00～12:00

参加費: 無料

会場: リモート参加 又は サテライト会場(ケアラーズカフェ日向家)

申込み: 愛知県支部事務局 0562-33-7048

名古屋大学や名城大学等の医学系学生チーム(医学部生・薬学部生・看護学部生・管理栄養学部生)によるオンライン講座です。この講座開催にあたり、学生さんには動画を通して家族の会の活動や家族支援について学んでいただきました。それを踏まえて、学生さんが多くの皆さんに認知症を伝える講座を開催します。ぜひ皆様ご参加ください



介護家族をささえる 連載②⑤

一 認知症家族会の取り組みに学ぶ

(愛知県支部著書より転載)

2012年3月に中央法規から出版した著書「介護家族をささえる」より、愛知県支部の活動の歴史を連載します。



2011年
3月31日
中日新聞
掲載より

<シングル介護者の“つどい”>

平成22年上期の家族支援プログラム受講者に、30代・40代の3人の独身女性の参加があった。いずれも実父母どちらかの介護をしているのであるが、介護のために仕事を辞めてしまうなど、就労問題は深刻だ。これまでも家族支援プログラムだけでなく、交流会にも独身の方の参加はたびたびあり、しかも若い年齢の方が多く、どうしたものかとずっと気にはなっていた。

そんな中、家族支援プログラム受講修了者のSさん(30代)から手紙が来た。会のボランティアに携わりたいというものだ。ちょうど“シングル介護”が気になっていたもので、嬉しい声かけだった。彼女なら手伝ってもらえるのではないかとひそかに考えていて、一度声をかけてみようかと思っていた矢先に、その彼女からの手紙だった。以心伝心なんといいタイミングなのか。

「独身で親を看ている人の交流会を開いてはどうかと思うけど、どう思う？」

「一人でいろいろと不安なので、そんな場所は欲しいわ」

「じゃ、試しに一度やってみましょうか。一緒にお願ひできますか？」

「いいですよ。私にできることがあれば」と“シングル介護者”の交流会を開催することになった。継続するかどうかは、一度開いてみて考えればいい。何事もやってみないとわからない。できることなら、私が主導していく形ではなく、シングルの方たちの思いで活動を進めてもらいたい。

日程は愛知県支部の30周年講演会(平成23年2月)でPRできるよう、翌月の第一日曜日に第一回目を設定し、チラシは講演会チラシと一緒に配布した。初めてのことでNHKでも募集の案内を流してもらうことができた。

テレビの放映では、問い合わせも何件かあったが、なかには今回は都合がつかないが次回はぜひ……という方も数名あり、思った以上に反響が大きかった。結局、第一回目申し込み者数は男性4名・女性9名であった。年齢は30代～70代までと幅広い。

えっ！ 70代の方？……ああそうか、90歳を超えた方をみていると70代のシングルの方もあって当然なのだ。ちょっと想定外だったが、初回は“シングル”に該当する皆さんには参加していただくことにした。初めてなので、昼食をはさんだランチ会とし、いつもの交流会より、少し長めの時間をとり、10時～14時30分とした。

できたら医師の参加があるといいなと思ったが、予算がないので、ボランティアで来てくださる先生でないと頼めない。それは結構難しい。

そんな時、国立長寿医療研究センターの洪英在先生の勉強会に出かけることとなった。洪先生はまだ30代なので、シングル介護者とは年齢差も少なく、ぴったりである。ダメもとでお願いしてみることにした。

「今度、新しくシングル介護者のための“つどい”を開催したいのですが、資金がなくて……。先生、ボランティアでお願いできませんか？」

「僕で役に立つならいいですよ」と、すんなり快く了解していただくことができた。

午前は全体での交流を行い、午後からは介護状況と年齢を考え、テーブルを三つに分けて細かな話がじっくりできるようにした。過去にこのような交流会に参加したことのない人がほとんどであったが、話題はつきない。やはり一人で看なくてはいけないということと、就労の問題が大きい。

「この先どうしますか？」
「続けてほしいな……」
「賛成！！」
「定期的に開催しましょうよ」
「じゃ、どのくらいの間隔でやるといいですか？」
「3ヵ月に1回！！」
「それでいいです」

と、話がまとまり、6月・9月・12月・3月と開催することが決まった。

後日、参加者の中から若いグループにいた男性と女性一人ずつに電話し、お世話係をお願いし、Sさんと3人でシングル介護担当を担っていただくことになった。参加者については申し訳ないが、2日目以降は就労問題が関係してくる60歳までの方を対象に募集することにした。年齢的に高めのシングルの方の悩みは、連れ合いを一人で介護している方の不安や心配ごととそれほどは違わないので、一般の交流会に参加していただくことにした。

この第一回目の取り組みは初めてということで、新聞で大きく取り上げられた。

「リーン リーン リーン」
え？ 5時半。こんなに朝早く誰だろう？？？

ずいぶん昔、朝方4時過ぎ電話が鳴るので、なんだろうと思ったら、「徘徊のおばあさんを保護しているが、いなくなって探しているという方の連絡はそちらに入っていますか？」という近くの警察署からの問い合わせだったことがある。

なんでこんな時間とも思ったが、よく家族の会の電話番号を知っていたと感心した。警察であずかれる時間は、保護してから24時間と限られており、どうもそれで焦って、藁をもつかむ思いで調べてかけてくれたようだった。残念ながらそのような情報はないので、期待には添えなかったのであるが……。そういう私もその時間、起きて事務所にいたということではどちらもどっちである。

それはともかく、今回は助成金の報告書づくりをしていた時だった。内容は、

「今朝の新聞をみました。僕も母親を一人で

介護しているんです。ただうちは認知症ではなく、がんで何度も入退院を繰り返して、もううたたくたです。新聞記事に共感しました」というものだった。

さっそく朝刊をとりに行き、記事を探した。それはそれは大きく掲載されており、しかもずっとこのところ震災の話が多かっただけに、目をひくものであった。

「リーン リーン」
「はい、家族の会です」
「今日の新聞見ました。僕も一人で介護しているんです。どんなことをやっているのですか？」

早朝の方と同じく、若そうな男性介護者の声だ。その後も電話は続き、1日で13件。なかには、がんの方のように認知症ではないけど、という方も数名あったが、「認知症でないで参加できませんか？」と聞かれて、とても大変そうな介護状況を聞くと「ダメです」とは答えられなかった。

認知症というカテゴリーではなく、少し広げて“介護”と“シングル”の枠での開催が必要なのかな……と今考えている。

とりあえず認知症のない方も参加していただき、それから考えてもよさそうだ。

シングル介護の問題は、絶対的な人数も多くなっているのだから、実は若年性認知症以上に深刻なのではないかと思っている。しかも働きながらで余裕がなく、横につながるすべもないという八方ふさがりの人が多い。まだ比較的若いから、何とか無理が効いているのだろう。

今回のシングル介護の“つどい”の参加者の3分の1が20代～40代と若めであったことからみても、次世代を担う人たちへの支援は、今後重要な取り組みとなっていくことだろう。ネット社会に生きる彼らとシングルの交流の場をどのようにリンクしていけるのか。家族の会の活動の今後を考える上でも、とても大事なことを学ばせてもらえる場となるのではないかと期待している。まあ今回もやりながらぼちぼち考えよう。



お手紙のページ

皆様の所へ順番に往復ハガキをお出ししています。ハガキが届きましたら、返信用ハガキに「ささやかな楽しみ」「おいしいグルメ情報」「新たな気づき」「嬉しかったこと」「介護の失敗談や成功談」「最近思うこと」「家族に直してほしいクセ」「家族の会へ」などなんでもよいので書いて投函してください。皆さんと一緒に思いを共有し、お得な情報は交換しましょう。



認知症家族交流会に参加して16年になります。現在は5件の交流会に参加をしています。その内1件は私が代表でやっています。14年と言う長い介護を終えてはや4年近くになります。妻亡き後も交流会には参加をしています。これから私がやることは認知症に辛い思いで困ってみえる人々に相談相手になってあげることと決めています。私が貴重な体験を生かして積極的にやることです。

「最近思うこと」

今一番困っていることは「個人情報」という法の為に情報をつかんでもなかなか中に入り込めなくて辛く残念な思いをしているのです。いくら手を差し伸べて相談相手になってあげようとしても家族の方(介護者)が話して下さることが少なく、大丈夫です、と言われてしまい、そのために私の名札も差し出して安心と信頼を得てと思いやっているのですが、むつかしいところも多く残念な思いでいます。今後はヤングケアラーも増えることでしょうか。なんとか良い方向になればと一人悩んでいるのです。いたるところでこのような件にぶち当たる、多く救えたものが救えないといったもどかしさを感じているところです。

(吉田長治さん)



最近、各地でケアラー支援条例が制定され、とても嬉しく思います。介護家族が社会で認められ支えられる仕組みを作っていきたいです。

(湯原悦子さん)



会報のお手伝いはいままでしたことが無かった。ある時會報の原稿の手造りで工夫された実物を見る機会がありました。隔月に読む會報を前よりも一層意識して読むようになりました。お手伝いするチャンスをつくり参加してみたいと思っています。

(Y. Mさん)



昨年末の健康診断で「中性脂肪」の数値が高く、かかりつけ医から「半年後変わらなかったら薬を出しますよ」と言われた。嫌だ!! どうすれば? と考えて思い当たることがあった。運動不足だ!! コロナ禍2年所属しているソフトボールチームの練習もほとんど無くなり極めつけは65歳になって手に入れた敬老パス。以前は歩いていた距離もこの半年交通機関を利用していた。

そこで決意! 今年1月からバス停3つ分(30分)を歩こうと。かくして5月の検査結果は全ての項目が基準値内に。主治医からは「優秀です」と言っていた。私「頑張りました」

(井之頭虚無子さん)



中日新聞で紹介されました(6・29)

子どもも知ろう 認知症

体験型動画

二〇二五年には高齢者の五人に一人がなるとされる認知症。子どもたちにも正しい知識を広めようと、ウェブサイトに漫画などを通して、症状や対応方法をやさしく伝える取り組みが進んでいる。(佐橋大)



患者と家族の会

サイト開設

公益社団法人「認知症の人と家族の会」(京都市)は今春、小学生向けの学習サイト「認知症」子どもサイトを開設した。認知症への理解を深め、認知症の人と出会ったらどうするかを考えたらいきたいと計画。子どもを対象にした認知症サポーター養成講座の教材として使いたい、と自治体などからの申し出もあるという。

子どもサイトでは、認知症のことを学ぶ二つの「体験ストーリー」を用意。その一つの「おばあちゃんが最近ヘンなんです」は、小学二年の男の子が一人暮らしをしている八十歳の祖母を訪ねたところ、夏なのに分厚いカーディガンを着て、家の中が散らかっているなど、様子がおかしいという内容だ。画面上の矢印をクリックすると紙芝居のように進んでいく。



中で、「『ヘンだよ』とおばあちゃんにはなす」「おあさんに知らせる」といった対応の選択肢が出てきて、自分ならどうするかを考える。選んだ答えごとにストーリーが進み、祖母を悲しませたり、不快な思いをさせたりしない方法などを改めて考える。

最後に、男の子が祖母の異変を感じたことを「博士」が解説。認知症になっても男の子を大切な孫だと思っ母の気持ち、うれしい、悲しいといった気持ちは変わらないことも伝える。

体験ストーリーは学校の授業で使うことを想定し、二つとも十分ほどで見られる分量。学校の先生も活用できるよう、サイト内に指導者向けのテキストも用意している。

同会事務局の辻村康代さんは「核家族化で同居の高齢者が減っている。認知症の人を地域で支える必要性も高まっている」と指摘。「子どもたちがまちなかで知らない認知症の人に会っ

ても、症状などを正しく理解して接してくれば、認知症の人を地域で過ごしやすいくなる」と話す。同会は、最近の子もたちが動画投稿サイト「ユーチューブ」などオンラインの情報に親しんでいることに着目。国内の競輪・オートレースを統括する公益財団法人JKAの補助を受けて子どもサイトを整備した。辻村さんは「認知症とは何だろう?」と思ったら家でも活用してみて」と呼びかける。

ふりがな付き漫画も 愛知支部

「認知症の人と家族の会」の愛知県支部などは小冊子「マンガで学ぼう認知症」シリーズ「写真」を発行し、希望者に販売している。「同じ物をいくつも買ってしまつ」「お金の計算ができない」といった認知症の人に現れやすい症状を漫画で紹介。家族への専門家の助言も添えた。子どもでも読めるよう、全ての漢字にふりがなが付いてい

る。こちらも認知症サポーター養成講座で使いたいといった注文が続いているという。小冊子は十二年前から少しずつ作っており、「基本編」から「施設のいろいろ編」まで全六種類。一冊百一十円で、送料などが別途必要。同支部のホームページから注文できる。同支部 電話05662(33)7048

♡ ちょっと息抜き ♡



三択クイズ・壹

昭和45年に「人類の進歩と調和」をテーマに開催された博覧会の正式名称は何でしょう？

- ① 日本万国博覧会
- ② 大阪万国博覧会
- ③ 人類の進歩と調和博覧会

ミニ知識：1970年3月15日～9月13日に開催されました。当時の入場料は大人（23歳以上）800円 青年（15～22歳）600円 小人（4～14歳）400円 でした。

三択クイズ・貳

現在、水洗トイレのタンクは背後にあるものが一般的です。昭和の頃、水洗トイレのタンクはどこにあったでしょう？

- ① 背後
- ② 家の外
- ③ 見上げた所

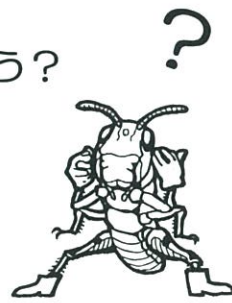


ヒント：ひも状のものを引っ張ると、水が流れました。

三択クイズ・参

「蚯蚓」←何と読むでしょう？

- ① おかっぴき
- ② みみず
- ③ おけら



ミニ知識：“みみず鳴く”は、秋の季語です。地面の下から、“ジュー”と聞こえる音を“ミミズが鳴いている”と言うことがありますが、実はオケラが鳴いているのです。春から夏にかけて“クビキリギス”という虫も“ジュー”と鳴きます。1年中、鳴いていたらそれはオケラです。

早口言葉に挑戦！ 声を出してね！

★熊野灘の棚田なのだ

★キットカット買ったとかんとイカン買ったのに、

アンタが買ったとかんかったでイカン買ったんだわ



答え

- 【壹】 ①日本万国博覧会
- 【貳】 ③見上げた所
- 【参】 ②みみず 「おかっぴき…岡っ引き（江戸の言葉） おけら…螻蛄（ケラ）」

ご寄付どうもありがとうございました
加藤節子様

ご寄付よろしくお願ひします

振込先 ゆうちよ銀行
口座名 認知症の人と家族の会 愛知県支部
口座番号 00880-1-62576
(通信欄に「寄付」とご記入ください)
家族の会への寄付は寄付金控除の対象になります

：お悔やみ：井上様 石井様
ご冥福をお祈り申し上げます。

9月号 10月号 会報お手伝いお願ひします

時間 10:00～15:00 少しの時間でも大歓迎です。
9月17日(土) 9月号本部報発送 ・10月号打合せ
◇パソコンの少しできる人
10月5日(水)・10月13日(木)・18日(火)・22日(土)
◇発送作業だけの人 10月22日(土)

<愛知県支部活動報告>

- 6月1日(水)日進交流会・講演会打合せ
- 2日(木)阿久比交流会・一宮カフェ
- 3日(金)半田交流会
- 4日(土)名大交流会・三河ブロック・本部総会
- 5日(日)本部研修会・シングル交流会
- 6日(月)シルバーカレッジ・扶桑交流会
- 7日(火)長寿研究事業会議
- 8日(水)尾張旭交流会・会報づくり
- 9日(木)名古屋ジェントルマンの会・新城交流会・大府交流会・南区北部介護教室
- 10日(金)福島支援プロ・瑞穂区東部介護教室
- 11日(土)名古屋交流会・元気かい
- 12日(日)介護教室勉強会
- 13日(月)知多ブロック
- 14日(火)八千代交流会
- 15日(水)知多交流会・刈谷交流会・会報づくり
- 16日(木)常滑交流会・大学動画撮影協力・普及啓発委員会
- 17日(金)蒲郡交流会・稲沢交流会・幸田交流会
- 18日(土)レベルアップ研修・ジェントルマンの会・男女参画(講師)・会報発送
- 19日(日)電話相談養成講座
- 20日(月)美浜交流会・名古屋市会議・ホームページ打合せ・熱田区介護教室
- 21日(火)津島交流会・自治体訪問キャラバン・瑞穂区西部、守山区西部介護教室
- 22日(水)西尾交流会・自治体訪問キャラバン
- 23日(木)自治体訪問キャラバン・昭和区東部介護教室
- 24日(金)長久手交流会・みよし交流会・フォーラム打合せ・仕事と介護委員会
- 25日(土)藤田交流会・藤田支援プロ
- 26日(日)世話人会
- 27日(月)支援プロ委員会・名大打合せ
- 28日(火)岡崎交流会・ほほえみ会・尾張旭打合せ
シルバーカレッジ(講師)・旅行打合せ
- 29日(水)自治体訪問キャラバン
- 30日(木)豊橋介護教室

ケアラーズカフェ 日向家 6月開所 22日 来所 295名 相談 5件

電話相談件数 6月 64件 7月 55件

参加者募集中！！

<仕事と介護の両立
学習会&交流会>

次回：9月14日(水)
夜 18:30～20:30

若年認知症への対応 作業療法士 伊藤篤史氏



リフレッシュ旅行

10月23日(日)・24日(月)を
予定しています。



<入会のご案内>

介護家族の他に保健、医療、福祉に携わる皆さん、認知症に関心のある方ならどなたでも入会できます。皆さまの会費が私たちの活動の資金です。ぜひ会員として活動のご支援をお願いいたします。

- ◇個人会員 年会費 5,000円
- ◇賛助会員 年会費 10,000円

地域包括支援センター・病院・診療所・企業・介護サービス事業所等、賛助会員としてご支援いただける方を募集しています。

◇入会手続

お近くの郵便局から、年会費をお振り込みください
振込先口座番号：01050-3-47146
加入者名：(公社)認知症の人と家族の会

7月1日(金)半田交流会・青年大学(講師)

- 2日(土)名大交流会、三河ブロック・リモート交流会
- 4日(月)扶桑交流会・自治体訪問キャラバン
- 5日(火)名古屋生き生き研修(講師)・愛知県会議
- 6日(水)刈谷支援プロ①・日進交流会・絵本読み聞かせマスター打合せ
- 7日(木)阿久比カフェ・一宮交流会
- 8日(金)自治体訪問キャラバン・商高会青年部サポーター養成
- 9日(土)名古屋交流会・元気かい
- 10日(日)電話相談養成講座
- 11日(月)知多ブロック・東海市支援プロ①・名大打合せ・天白区東部介護教室
- 12日(火)八千代交流会・買い物委員会・本部老健事業打合せ
- 13日(水)尾張旭交流会・仕事と介護交流会・広域連合会議・医師打合せ
- 14日(木)名古屋ジェントルマンの会・新城交流会・大府交流会・名古屋会議
- 15日(金)稲沢交流会・瀬戸交流会・幸田交流会・鈴鹿医療科学大学(講師)
- 16日(土)会報打合せ・発送・知多ジェントルマンの会・レベルアップ研修・啓発委員会
- 17日(日)一宮町内会(講師)
- 19日(火)自治体訪問キャラバン・美浜交流会・津島交流会
- 20日(水)知多交流会・刈谷交流会・杉田面談・北区西部介護教室
- 21日(木)常滑交流会・支援プロ①
- 22日(金)長久手交流会・みよし交流会・中川区東部介護教室
- 23日(土)藤田交流会
- 24日(日)近畿ブロック会参加
- 26日(火)岡崎交流会・ほほえみ会・運営委員会・天白区西部介護教室
- 27日(水)西尾交流会・大府センター会議・名古屋会議・東区介護教室
- 28日(木)支援プロ委員会・名古屋会議・面接・千種区東部、中区介護教室
- 29日(金)絵本読み聞かせマスター・大府市会議
- 30日(土)あいせい・記念病院打合せ
- 31日(日)電話相談養成講座

ケアラーズカフェ 日向家 7月開所 22日 来所 359人 相談 9件

【主催】 家族の会愛知県支部 介護家族交流会

参加の事前申込は必要ありませんが、コロナで変更になる場合がありますのでホームページにてご確認のうえお越しください。

リモート交流 9月3日(土)夜9:00～
ミーティングID:976 7321 1494
パスワード:337048

名古屋大学医学部附属病院 (: 一般) 9月 3日(土) 10月 1日(土) 毎月第1土曜日午前10:30～12:30 名古屋市昭和区鶴舞町65	元気がい (対象:若年性本人&家族) 9月10日(土) 10月 8日(土) 毎月第2土曜日 午後1:30～4:00 東海市しあわせ村 東海市荒尾町	シングル介護 (対象:独身で親の介護) 10月 2日(日) 12月11日(日) 偶数月 第1日曜日 午後1:30～4:00 ウインクあいち中村区名駅4-4-38
名鉄病院(栄生駅) (対象:一般) 9月 お休み 10月 お休み 毎月第3日曜日午前10:30～12:30 名鉄栄生駅前	ジェントルマン知多会場 (: 男性介護者) 9月17日(土) 10月23・24日 旅行 毎月第3土曜日 午後1:00～3:00 ケアラズカフェ 名鉄尾張横須賀駅前まなぶん内	知多ブロック (対象:一般) 9月12日(月) 10月10日(月) 毎月第2月曜日 午後1:30～3:30 東海市しあわせ村 東海市荒尾町
藤田医科大学病院 (対象:一般) 9月24日(土) 10月22日(土) 毎月第4土曜日午前10:30～12:30 豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98	ジェントルマン名古屋会場 (男性介護者) 9月15日(木) 10月20日(木) 毎月第2&3木曜日 午後1:30～3:30 昭和区役所7階 昭和区阿由知通3	ほほえみ会(尾張ブロック) (: 一般) 9月27日(火) 10月25日(火) 毎月第4火曜日 午後1:30～3:30 ささえ愛センター 春日井市春見町
八千代病院 (対象:一般) 9月13日(火) 10月11日(火) 毎月第2火曜日 午後1:30～3:30 安城市住吉町2-2-7	ストップザ介護離職 (仕事と介護の両立) 9月14日(水) 学習会・若年性認知症 奇数月 第2水曜日 午後6:30～8:30 ウインクあいち 中村区名駅4-4-38	わの会(三河ブロック) (対象:一般) 9月 3日(土) 10月 1日(土) 毎月第1土曜日 午後1:30～4:00 豊橋商工会議所 豊橋市花田町字石塚

【主催】 各市町村における交流会 各会場午後1:30～3:30 蒲郡・岡崎・常滑・半田・知多・名古屋 10:00～12:00

家族の会スタッフがサポートとして関わっている市町村の交流会です。(コロナにより変更がありますので、ご確認の上ご参加ください)

市町村名	【9月】	【10月】	曜日	会場	電話番号
阿久比町	1日	6日	第1木	阿久比町保健センター	0569-48-1111 (包括支援課)
一宮市	1日	6日	第1木	一宮駅前iビル	0586-28-9151 (高年福祉課)
稲沢市	16日	21日	第3金	稲沢市役所	0587-32-1293 (高齢介護課)
大府市	8日	13日	第2木	ふれあいサポートセンタースピカ	0562-45-6289 (高齢障害支援課)
岡崎市	27日	25日	第4火	岡崎市役所	0564-23-6837 (長寿課)
尾張旭市	14日	12日(カフェ)	第2水	中央公民館	0561-55-0654 (包括支援センター)
蒲郡市	16日	21日	第3金	蒲郡市役所	0533-67-1151 (健康推進課)
刈谷市	21日	19日(カフェ)	第3水	社会教育センター	0566-62-1063 (長寿課)
幸田町	16日	21日	第3金	福祉サービスセンター2F	0564-62-7331 (包括支援センター)
新城市	8日	13日	第2木	文化会館	0536-23-7688 (高齢者支援課)
瀬戸市	9日	14日	第2金	瀬戸市文化交流館	0561-88-2626 (高齢者福祉課)
知多市	21日	19日	第3水	福祉活動センター	0562-54-1211 (高齢相談支援セ)
津島市	20日	18日	第3火	津島市役所	0567-55-9471 (高齢介護課)
常滑市	15日	20日	第3木	常滑市中央公民館	0569-47-6133 (高齢介護課)
長久手市	30日(カフェ)	28日	第4金	福祉の家	0561-64-1155 (地域福祉課)
名古屋市	10日	8日	第2土	高齢者就業支援センター	052-972-2549 (ケア推進課)
西尾市	28日	26日	第4水	市役所	0563-65-2120 (長寿課)
日進市	7日	5日	第1水	中央福祉センター	0561-73-1484 (地域福祉課)
半田市	2日	14日	第1金	半田市役所	0569-84-0662 (健康課)
扶桑町	5日	3日	第1月	福祉センター	0587-91-1171 (地域包括支援セ)
美浜町	20日	17日	第3月	保健センター	0569-82-1111 (高齢介護係)
みよし市	30日	28日	第4金	みよし市役所	0561-32-8009 (長寿介護課)



編集後記 猛暑とコロナと災害の毎日で、心が折れるような日々ですね。我が家の15歳の愛犬が5～6歩位しか歩けなくなりなりました。それでも散歩には行きたがります。方向転換もままならなくなり視野から私たちが見えなくなるとワンワン!と泣きさげびます。下の方も危なくなりおむつになり介護が始まりました。でも家族です。可愛いです。 ちゃこ

支部だより あいち NO.228 発行: 477-0034 東海市養父町北堀畑58-1
公益社団法人 認知症の人と家族の会・愛知県支部 (世話人代表 尾之内直美)
TEL:0562-33-7048 FAX:0562-33-7102
電話相談専用ダイヤル 0562-31-1911 (平日10時～16時)
個別相談 (於: ケアラズカフェ日向家) 毎週火～土 10:30～15:00
ホームページアドレス <http://hearttoheart.or.jp/>

一人で悩まないで困った時はお電話を!!